



山梨県地域日本語教育推進事業  
令和8年度文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

# 日本語でつながる 山梨で暮らす — 日本語教室パートナー 募集 —

外国人住民のための日本語教室に参加する地域住民ボランティア(パートナー)を募集します。

## 1. 山梨の日本語教室

山梨県では、「誰もが活躍できる共生社会の実現」を目指して、山梨県地域日本語教育推進事業を展開しています。現在、9市町が本事業を活用した日本語教室を実施しています。

教室は週に1回、7月～2月頃に開催されます。

教室では外国人住民、パートナー、日本語教師と一緒に活動します。



## 2. パートナーの役割

教室に参加する外国人住民や他のパートナーと日本語で生活をテーマに一緒に話したり、考えたり、情報を交換したりします。皆さんで住みやすい地域をつくっていく住民ボランティアです。



日本語を専門的に教える役割ではありません

## 3. パートナーの条件

興味がある方なら誰でも参加できます。国籍、年齢、経験、外国語能力の有無は問いません。ただし、研修会(無料※)への参加が必要です。話し合いやふりかえりを重ねながら学びを深める研修です。

■パートナー研修会 13:00～16:00 ZOOM  
令和8年7月18日、25日、8月1日(土)

9月26日(土)、教室参加研修(1回)

※研修会参加に必要な通信環境の整備(Wifiの設置、通信費等)は自己負担です。

## 4. パートナーの申し込み



←こちらよりお申込みください  
<https://forms.gle/tK1gsp3yph8vPhsbA>

締切 6月30日(火)

■令和8年度山梨県地域日本語教室開催市町村  
甲府市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市  
北杜市、笛吹市、上野原市、富士河口湖町

- ✓ 申し込みの方には7月16日頃、ZOOM情報をメール宛お送りします。
- ✓ 日本語教室には、8月1日の研修会以降、ご参加いただけます。なお、日本語教室の開催日程は市町村により異なります。各教室の開催日程はコーディネーターまでお問合せください。

問い合わせ

(公財)山梨県国際交流協会 古屋  
(コーディネーター)

Mail: y-nihongo@yia.or.jp

TEL: 090-7705-7513 (火曜日～日曜日)

FAQ  
よくある質問



# パートナー研修会の内容

講義に加え、対話やワークショップを通して学ぶ研修会です。  
毎回の研修会後には感じたことや考えたことを振り返りながら学びを深めます。

7月18日(土) (オンライン開催)

## 第1回

### 多様化する社会と私たちの向き合い方

多様な言語や文化を背景に持つ人々が出会い、同じ地域で共に生活する社会において、私たちにはどのような姿勢が求められているのでしょうか。第1回では、多様化が進む日本社会の現状を理解するとともに、そのような社会において相互理解を深めるために必要な姿勢について考えていきます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター副センター長・准教授)

7月25日(土) (オンライン開催)

## 第2回

### 多様な人との共生のためのコミュニケーションを考える ～待つ、聴く、対話する～

外国人住民と「同じ市民」として共生していくために大切な「対話」について考えます。シアターワークを取り入れたワークショップを通して対話の姿勢である、「待つ・聴く」を体験し、外国人とどのように向き合い、耳を傾け、心地よく対話できるかを考えます。

中山 由佳(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

8月1日(土) (オンライン開催)

## 第3回

### 「伝わる」をデザインする工夫 ～やさしい日本語入門編～

私たちがふだん使っている日本語は、相手によっては少し難しいかもしれません。

第3回では、相手を思いやりながら伝えることばを見つけるために、「やさしい日本語」への言い換えのコツを練習します。

小林 信子(ユニタス日本語学校非常勤講師、山梨やさしにちGEMS代表)

山梨県地域日本語教室の様子やパートナーとして教室で求められる役割などを知りましょう。

古屋 玲子(山梨県地域日本語教育総括コーディネーター)

8月2日(日)～教室開催期間中

## 第4回

### 実践研修 ～日本語教室に参加してみよう～

各自で日本語教室に参加します。研修課題として教室に参加して感じたことをまとめます。

9月26日(土) (オンライン開催)

## 第5回

### 共に生きる社会において「パートナー」としてできること

多様な人々が共に暮らす社会において、「パートナー」として私たちにできることは何でしょうか。

第5回では、これまでの研修で考えてきたことを踏まえ、自分なりの「パートナー像」を描きながら、地域の教室の内外で果たし得る役割について考えます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター副センター長・准教授)

#### 【注意事項】

研修内容の改善や文部科学省等への事業報告を目的として、研修の様子を録音・録画するとともに、研修内でのアンケートや振り返りデータは個人が特定されない形で山梨県及び文部科学省に提出します。また、録音・録画データを含め研修会において収集した情報については事業報告会等での発表に使用する可能性がありますので、ご理解、ご了承の上、ご参加くださいますようお願いいたします。